



第19回例会

平成17年11月16日(水)
サンパレス福島

本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 ロータリーソング「奉仕の理想」
- 3 四つのテスト
- 4 来訪者紹介と会長挨拶 野地利雄会長
- 5 米山奨学生 奨学金授与
- 6 食事 幹事報告
- 7 ゲストスピーチ
伊藤 浩 2530地区ロータリー財団委員長
(郡山西北RC)
- 8 スピーチの御礼
- 9 各委員会報告
ロータリー財団委員会
スマイリング委員会
出席委員会
- 10 閉会点鐘



会長挨拶 野地利雄会長

皆さん、こんにちは。
この頃、一桁の気温が続いて
おります。体調管理に十分
留意して下さい。



先日、例会終了後、第6回
理事会が行われ、11月26日(土)
に行われる移動例会(新世代
会議)の打合せ予定と共に、当
クラブ35周年記念実行委員会組織の委員会構成が承認
されました。皆さんにも後日発表されると思います。

12月14日(水)には、例会終了後、第1回各委員会が
行われます。「もうこの時期が来たのか」と身が締まる
思いであります。皆様の思いとご協力をお願い申し上げ
ます。また、11月13日(日)1区、2区合同ゴルフ大
会があり、当クラブより3名の出席を頂きました。

今月はロータリー財団月間でもあります。ロータリー
の友11月号の資料によりますと、全世界財団創設
以来の寄付額累計は、1,675,340,000米ドルで、その
内日本の寄付額は349,353,886米ドルとなっております。
日本のポールハリスフェロー数は、130,736
人、全世界は960,246人だそうです。

また、「ロータリー財団の使命は、人道的・教育的・文
化交流プログラムを通じて、ロータリーの綱領と使命
を遂行し、世界平和を達成する努力を支援する事であ

る」と書かれております。

本日は2530地区、郡山西北RC所属、伊藤浩ロータ
リー財団委員長のスピーチをお願いしております。ご
清聴と共に財団BOX協力を願ひまして、会長挨拶と
致します。ありがとうございました。

ゲストスピーチ

2530地区ロータリー財団委員長

伊藤 浩様



ロータリー財団とは何か。
お話を頂きました。ロータリ
ーの目指す国際理解、平和、
貧しい人に手を差し延べると
言う、ロータリー本来の目
的をロータリー財団の人道的・
教育的なプログラム等を通
じて、これを支援するいわば
ロータリーを立派に計画を遂行させるための支援団体
なのです。

企業経営で言えば100%出資の子会社なのです。そ
れは販促部門、広報活動を促進することがロータリー
財団です。正しく言うと「国際ロータリー財団となる」
ロータリーの皆様方からのあたたかいご寄付から成
り立っています。皆様からのご寄付が辞めると3年
後には終わりになることです。

「ロータリーのためのロータリー財団である」この
寄付のお金は必ず戻ってくるのです。たとえば年次寄
付400ドルを今年寄付されると、3年後には200ドル
は地区活動資金に、200ドルは国際活動資金になるの
です。では、運営費はロータリー財団の職員の給与は
どの様になっているのか。

3年間の運用した利益によって成り立っています。
毎年集めなければならないのが年次寄付なのです。さ
らに恒久基金があります。たとえば、1,000ドルの寄
付を3年間で200ドルの運用収益があったら、50%
の100ドルが収益となります。

来年は残念ながら、3年前の運用がうまくいかなか
ったため、恒久基金の利息部分はなく、利益のみです。財
団では、恒久基金を増やして行こうと2025年の10億
ドルを目標にしています。



今月・来月のプログラム

- 12月 7日 クラブ協議会
- 12月14日 ゲストスピーチ
福島県果樹試験場 佐藤 守氏
- 12月21日 家族クリスマス忘年会
- 12月28日 法定休日

【会員名】 穴戸 清和

【企業名】 有限会社 太平地所

【業務内容】 不動産売買 仲介 管理業務

【P R】 ★地域密着型の不動産会社として、お客様の要
望を達成できる様に、四つのテストを実践し
て行きます。

